

郷土しりょうかん

わたりちょうりつきょうとしりょうかん
巨理町立郷土資料館

〒989-2351 巨理郡巨理町字西郷140
Tel 0223-34-8701 Fax 0223-34-8709
E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp

文化財修復の様子～伊達実元霊屋保存修理工事(1)～

今回から町指定文化財「伊達実元霊屋」修理の様子を全4回に分けて紹介していきます。

※伊達実元(1527-1587)…初代巨理領主成実の父。霊屋…遺骨を納めた墓所の上に建つ建物。



①工事着工前です。霊屋と呼んでいますが、お墓は福島県の陽林寺にあるため、正式には「位牌堂」になります。実元の没後250年忌に建立されました。前回の修復から40年以上が経過しており、柱や縁廻りなどの虫喰や腐食、欠陥箇所が増えています。また、写真の通り、左隣りの美氏霊屋との接触の危険性もあるため、令和3年2月から修理工事を開始しました。



②縁廻りの解体後です。霊屋の脚になる柱部分の傷みが進行しているのが分かります。縁廻りも腐食や割れなどが至る所に見受けられました。文化財は可能な限り当時の姿のまま保存することに意味があり、修理する際も、傷んでいる部分のみを新しい部材で補うように修理します。そのため修理後をよく見ると継ぎはぎになっていることも珍しくありません。



③霊屋の揚げ屋工事です。霊屋下の土台(石)工事のため、建物が高さ1mほどまでジャッキアップされました。平行を保っているか確認しながら木材を組んで仮土台にしています。また、扉が取り外されているのも確認でき、この時点で床板も外されています。普段見ることができない光景です。



④土台の石工事が始まりました。地盤工事のため、石敷きを外す際、元の位置に戻せるよう番号を記したテープが貼られています。今回の工事では、地盤の歪みを直して補強し、水はけを良くし、さらに盛土をして、実氏霊屋の屋根との接触を避けるため、建物の位置を少し上げています。

次回は石工事の完成から紹介しますので、お楽しみに！

次号の「郷土しりょうかん」は、7月に発行する予定です。

郷土資料館、図書館、各公共施設の窓口にご覧いただけます。



巨理伊達家雛人形公開とつるし雛展を開催しました！



▲つるし雛展とアマビエ



▲手作り雛観覧の様子

2月18日(木)から3月18日(木)まで、常設展示室に石川家伝来の巨理伊達家の雛人形を婚礼道具の調度品とともに展示しました。この雛人形は、巨理伊達家十五代伊達邦成の三女佑子さんが、嫁入り道具として嫁ぎ先の石川家に持参された古今雛です。石川家は巨理伊達家と同じく仙台藩の一門であった角田石川家の流れをくむ家柄です。期間中の23日間で合計595人の方にご覧いただきました。

つるし雛展は昨年初めて2階エントランスホールに展示したところ大変好評をいただきました。今年はコロナ退散の意味を込めた「アマビエ」をつるし雛の中に潜ませたところ、皆様カメラを片手に探しながら見学されていたのが印象的でした。

また、1階エントランスホールにはつるし雛製作講師の「織縹会那智が丘すみれ」が作成した手作り雛とシルバー人材センター主催の「つるし雛作り体験！」教室受講者の作品も併せて展示しました。



東日本大震災写真展を開催しました！

2月27日(土)から3月25日(木)まで、企画展示室で「東日本大震災写真展 3.11あの日を忘れない、あの日を伝える」を開催しました。

東日本大震災の発生から10年を迎え、津波の恐ろしさと被害、これまでの復興の歩みなど歴史的事実を写真を通して伝え、災害への備え、命を守る行動について、いま一度考える機会としました。期間中の22日間で合計613人の方にご覧いただきました。

展示写真は、津波による被害の状況・巨理中学校避難所・災害ボランティア・巨理領主歴代墓所復旧など65点に及びました。

震災を経験していない年代の子供を連れた家族連れの姿も見られ、震災の記憶が風化しないように、後世の人達にしっかりと引き継がれるような展示がこの先も必要だと改めて感じました。



▲写真展*復旧と復興コーナー



▲写真展観覧の様子

第24回収蔵資料展 展示資料紹介



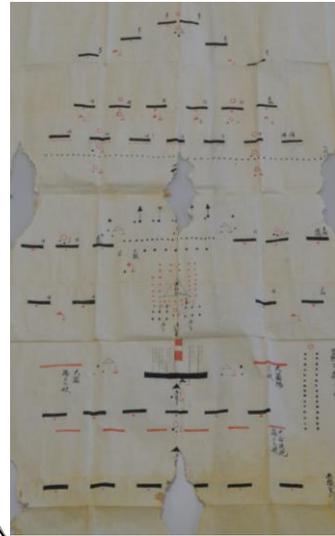
今年で24回目となる「収蔵資料展」を企画展示室で開催しています。平成30年度に寄贈された昭和後期から平成初期の家庭用ゲーム機を中心としたおもちゃのほか、当時のくらしぶりなどを伝える資料58点を展示しています。今回はその中から2点紹介します。

ファミコンディスクシステム

昭和61年(1986)発売されたディスクカードを挿入してゲームをするファミコンの周辺機器。発売して間もなくディスクカードの容量を上回る製品が発売され、早期に衰退しました。



巨理御備立



備立とは合戦における兵の配置や陣の構え方を示した図で陣立とも呼びます。旧岩谷堂伊達家文書の一つ。巨理伊達家のものと考えられるが、いつ頃のものかは不明。最前線の鉄砲、大砲部隊をはじめ、各部隊の配置や大将の存在を示す旗が確認できます。



郷土資料館 今年度の事業予定

	事業名	期日・期間	概要
展示	第24回収蔵資料展	4/24～6/20	平成30年度寄贈資料の展示
	夏のテーマ展 「ポスターでたどるオリンピック」	7/17～8/29	オリンピックポスターを中心に巨理町の聖火リレーの資料を展示
	企画展「被災資料が語る巨理荒浜」	10/2～11/21	被災資料の整理・修復の状況と巨理荒浜地域についての展示
	巨理伊達家雛人形公開とつるし雛展	R4.2月～3月	石川家伝来の巨理伊達家雛人形の公開とつるし雛の展示
行事・講座等	伊達成実霊屋御開帳スタンプラリー	R4.1/16	伊達成実霊屋と郷土資料館をスタンプラリーしながら見学
	夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」	8/21	もの作りをとおして先人の知恵に触れる機会として勾玉を作製
	ものしり大学院	11月	巨理の歴史と文化を探り、町民文化の向上を目的とする座学講座
	文化の日「オープンミュージアム」	11/3	民俗芸能演舞会や切り絵等の体験

名称や会期、内容は変更になる場合があるのじゃ！

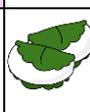


郷土資料館カレンダー・利用状況

4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 資料 整理日	24 収蔵 資料展 初日
25	26	27	28	29 昭和 の日	30	

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 憲法 記念日	4 みどりの 日	5 こどもの 日	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/ /30	24/ /31	25	26	27	28 資料 整理日	29

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20 収蔵 資料展 最終日	21	22	23	24	25 資料 整理日	26
27	28	29	30			

◆  は休館日

◆ ゴールデンウィーク期間中は祝日も特別に開館します。

巨理伊達家雛人形公開とつるし雛展

R3.2.18~3.18

●開館日数…23日間

●観覧者数…595人(1日平均26人)

東日本大震災写真展

R3.2.27~3.25

●開館日数…22日間

●観覧者数…613人(1日平均28人)

令和2年度 郷土資料館観覧者数

◎開館日数…238日間

(令和2年4月1日~令和3年3月31日)

◎観覧者数…5,759人

平成6年10月15日に開館してからの
総観覧者数は208,772人です。

これからも皆様のご来館を
お待ちしております！



おわりに

新型コロナウイルスにより延期になっていました「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催が近づいてきましたね。海外からの観客受け入れを行わないで開催と決定されましたが、今後の状況も気になるところです。ワクチン接種も徐々に始まっていますので、終息に向かってくれることを期待したいですね。

令和3年度を迎え、郷土資料館でも可能な範囲での展示及び行事と年間スケジュールを考えています。館内ではサーマルカメラ設置・ヘルスチェックシート記入のお願い・展示室内入場者数の制限など感染対策を行っていますので、皆様も足を運んでみてください。

郷土資料館利用案内

*開館時間…9:00~16:30(入館は16:00まで) *観覧料…無料 ※特別展等有料の場合あり

